

市民公開シンポジウム がんになったら「緩和ケア」

<開催日程> 2009年1月25日(日)13:00~16:30

<会場> 東京国際交流館 3階 国際交流会議場

厚生労働省委託事業「緩和ケア普及啓発事業」Orange Balloon Project

シンポジウム実施、一般市民への普及啓発、アンケート調査実施

来客者総数：一般参加 226名（事前応募 363名）、アンケート回収数：198名

=講演・会場の様子=



厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業

Orange Balloon Project : オレンジバルーンプロジェクト



市民公開シンポジウム

がんになったら「緩和ケア」

プログラム

日時：2009年1月25日（日）13:00

会場：東京国際交流館3階「国際交流会議場」

主催：日本緩和医療学会

共催：日本ホスピス緩和ケア協会・日本在宅ホスピスケア研究会
日本死の臨床研究会・日本がん看護学会

協賛：がん性疼痛緩和推進コンソーシアム

がんになったら「緩和ケア」

プログラムは、進行状況により変更の可能性があります

開会挨拶	
13:00-13:10	開会挨拶（オレンジバルーンプロジェクトの紹介） 兵庫県立大学看護学部・日本緩和医療学会理事：内布 敦子 帝京大学医学部内科学講座・日本緩和医療学会理事長：江口 研二
基調講演（1）	
13:10-14:00	緩和ケアのエッセンス 昭和大学医学部 医学教育推進室：高宮 有介
基調講演（2）	
14:00-14:50	緩和ケアを受けて生活を取り戻そう 国立がんセンター中央病院 がん看護専門看護師：細矢（戸谷） 美紀
コーヒブレイク（調整） 14：50－14：55	
基調講演（3）	
14:55-15:45	がんに伴う痛みを和らげる方法 聖路加国際病院 緩和ケア科：林 章敏
コーヒブレイク（調整） 15：45－15：55	
ミニパネル	
15:55-16:25	がんになったら「緩和ケア」 司 会：兵庫県立大学看護学部・日本緩和医療学会：内布 敦子 パネリスト：昭和大学医学部 医学教育推進室：高宮 有介 国立がんセンター中央病院：細矢（戸谷） 美紀 聖路加国際病院 緩和ケア科：林 章敏
開会挨拶	
16:25-16:30	閉会挨拶 兵庫県立大学看護学部・日本緩和医療学会理事：内布 敦子

講演者プロフィール（プログラム順敬称略）

◆内布 敦子

兵庫県立大学看護学部教授 治療看護学

1977年にはじめは助産師として虎ノ門病院に勤務し、ひきつづき血液内科、消化器内科、外科などでトータル約10年間の臨床経験を経た。千葉大学で看護学修士、大阪大学で人間科学博士を取得した。東京女子医大看護短期大学で看護教員を5年間経験して、ミネソタ大学でリサーチスカラーとして学び、帰国後1993年の兵庫県立看護大学開設当初から大学教育に携わり、兵庫県立大学でDr. Larsonと共に、がん看護専門看護師を育てる修士課程を1997年から立ち上げた。Symptom Managementをはじめとしてターミナルケアなどがん看護の領域で、教育、研究に携わっている。2006年第11回日本緩和医療学会総会会長。日本緩和医療学会理事として緩和ケア啓発普及事業に携わっている。

◆江口 研二

帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科教授、帝京がんセンター長

1973年慶応大医学部卒、国立がんセンターレジデント、国立がんセンター中央病院内科など、肺癌などを中心としたがん診療に従事。現日本緩和医療学会理事長、厚生省がん対策推進協議会委員など。

◆高宮 有介

昭和大学医学部 医学教育推進室 専任講師

1985年昭和大学医学部卒業後、昭和大学外科学教室入局、1990年「がん疼痛対策マニュアルの試作と実践」で医学博士、1992年昭和大学病院緩和ケアチーム、2001年昭和大学横浜市北部病院緩和ケア病棟。

2007年より現職。

日本緩和医療学会理事 教育研修委員・日本ホスピス緩和ケア協会常任理事 教育研修委員長・大学病院の緩和ケアを考える会代表世話人・日本死の臨床研究会常任世話人・雑誌「緩和ケア」編集委員。

主な著書：「がんの痛みを癒す」（小学館：1996年）「ナースができる癌疼痛マネジメント」（編著、メチカルフレンド社：2001年）「臨床緩和ケア」（共著、青海社：2004年）。

◆細矢（戸谷） 美紀

国立がんセンター中央病院 がん看護専門看護師

1991年3月千葉大学看護学部卒業

1991年4月～1996年3月 国立がんセンター中央病院 看護師、2001年3月千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2001年4月～ 国立がんセンター中央病院 看護師、2003年4月～ 同副看護師長。2002年7月～2008年4月 同 緩和ケアチーム専従看護師。2003年11月日本看護協会がん看護専門看護師認定、日本緩和医療学会理事、日本がん看護学会評議員、ホスピスケア研究会世話人。

◆林 章敏

聖路加国際病院 緩和ケア科医長

1988年宮崎医科大学医学部（現 宮崎大学医学部）卒業。1988年淀川キリスト教病院内科研修。1989年淀川キリスト教病院ホスピス医員。1990年、英国オックスフォード、マイケルソーベルハウスにて研修。1994年淀川キリスト教病院消化器内科医員。1995年日本バプテスト病院ホスピス医長。1998年日本バプテスト病院ホスピス長。2002年オーストラリア、メルボルン Monash University にて研修。2004年聖路加国際病院 緩和ケア科医長。2007年広島大学大学院非常勤講師を兼務。2008年東京医科歯科大学非常勤講師、埼玉医科大学非常勤講師を兼務現在に至る。

厚生労働省「終末期医療に関する調査等検討会」委員、日本ホスピス緩和ケア協会理事、日本緩和医療学会総務委員、他。

主な著書：「死をみとる一週間」（医学書院2002年）「誰でもできる緩和医療」（医学書院1999年）他。